

報道発表

令和4年5月20日
名古屋税関
四日市税関支署



令和4年4月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年4月分について、輸出額は「有機化合物」などが減少したものの、「映像機器」、「石油製品」などが増加したことから、対前年同月比19.4%の増加となった。また、輸入額は「石油製品」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが増加したことから、同78.7%と大幅な増加となった。

その結果、差引額は1,347億円（同156.2%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	821億円	+19.4%	2,168億円	+78.7%	▲1,347億円	+156.2%
13カ月連続の増加		13カ月連続の増加				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 映像機器	58億円	2,143倍	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1,428億円	+98.0%		
		(2) 石油製品	81億円	+79.6%			(2) 液化天然ガス	312億円	+173.2%		
		(3) 自動車の部分品	73億円	+66.1%			(3) 石炭	70億円	+168.4%		
	減少品目	(1) 有機化合物	30億円	▲52.0%		減少品目	(1) 石油製品	21億円	▲55.5%		
		(2) 通信機	0億円	▲99.6%			(2) 半導体等電子部品	1億円	▲83.3%		
		(3) その他の化学製品	29億円	▲27.5%			(3) 鉄鋼	18億円	▲13.3%		
地域別動向		アジア、大洋州が増加、中東は減少				地域別動向	中東、北米が増加、中東欧・ロシア等は減少				

（参考）ドルレートは、122.84円（前年同月比12.1%、13.28円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。